

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



沢山の思い出がつまった。  
風の子会をずっと、ずっと残していく為に  
今皆様に知ってほしい。  
風の子会の危機を・・・。



※誠に勝手ながら、今月号よりページを左開きに変更させて頂きました御了承下さいませ。

## 目次

- ☆高浜荘移転問題報告・・・2
- ☆高浜荘移転に関する質問書・・・3
- ☆巻頭文、活動報告・・・4
- ☆クラブ活動報告、ボランティア募集・・・5
- ☆花田会長の俳句、夕会便り・・・6
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）・・・7
- ☆僕の生い立ち（太田連載）  
僕と彼女と時々僕の家族（田中連載）・・・8
- ☆訃報、スケジュール・・・9
- ☆虫めがね・・・10
- ☆虫めがね、寄付のお礼・・・11
- ☆編集後記・・・12



# 風の子会移転後の未来

退去が早まる！？ 移転についての区役所との話し合い（2月度）報告

岡本 明



移転についての区役所との話し合い（2月度）を行ないました。その概要を報告します。

日時： 2016年2月10日（火）

区役所： 障害者福祉課課長、係長、  
開発指導課街づくり担当係長

風の子会： 岡本（明）



概要： 1月に行われた、高浜実習所における区の説明会の際に出たいろいろな質問や、提示した『行くあてのない風の子会としての質問』に対して、さらに詳しく説明をいただいた。また、先に示された退去時期が早まる可能性が示された。

## 1. 地下道新設について

- ・ JRの上を通す高架橋は、新幹線の上を通すと規定によって10m以上の高さを渡さなければならないため、10%以上の道路勾配になってしまう。これは道路を造る際の規定をオーバーしてしまう。JRの線路に沿って登って距離を稼ぐのは、JRの設備や渡った先の道路との接続の問題などもあり、できない。
- ・ 現在の地下道は、道に沿って下水管が通っていて、下水管を移動するのは多大な費用がかかる。
- ・ JRの橋げたは、数メートルおきに立っていて、現在の地下道の部分が一番広いので、ここを利用して幅を広げる。
- ・ 全体の位置をさらに北か南に移すのは、JRの橋げたの間隔が狭いことと、出た先の道路との接続や下水処理地の位置関係から無理である。

## 2. 今回の計画と、関係者への説明について

- ・ 港区では、現在の地下道は大雨のときに冠水するので、作り直すことを平成22年から検討していた。そこに平成24年ころにオリンピックの話が出てきて、その時期も考慮して平成27年に基本的な計画が決まった。カナルサイド高浜の取り壊しもその時決まった。
- ・ このような計画の場合、決まってから次のステップとして、説明や、補償・移転先の検討をする。カナルサイド高浜の取り壊しに関連して、現在の住民、風の子会への説明やその後の対応策は障害者福祉課が担当する。

## 3. 建物の立て直しについて

- ・ 建物はいずれ別の場所に23区で立て直す。その際、フレンドホームの部分は港区のものなので、同じスペースを確保できる。
- ・ 現在の風の子会の場所は、たまたま空いていたので、23区から港区が借り、それを風の子会に提供できた。新しい建物では具体的に使う予定のない部分を作ることはしないので、空いている場所は作られない。23区が風の子会のためにお金を出してくれることはないだろう。
- ・ したがって、風の子会の移転先は別に探さなければならない。これは区長からの指示でもあり、障害者福祉課としてはできる限りの努力をする。税金を使うためには風の子会の価値、意義を区や区民に理解してもらわなければならない。

## 4. 移転の時期について（右働係長）

- ・ 解体時期は早まる可能性がある。取り壊しに時間がかかるので、平成31年3月と言っていたが、平成30年中ごろになる可能性もある。詳細は今年の7月ころに決まる。

## 5. 風の子会からの質問文書について

- ・ 1月の説明会のときに提示された風の子会からの質問文書には、文書で答える準備をしている。

以上。



港区 様

平成 28 年 1 月 12 日

風の子会 運営委員会

港区の道路計画に伴う建物取り壊しの結果、  
行くあてのない風の子会としての質問

このことについては、初めての臨席いただく場なので、急な質問ですから、後日回答いただいて結構です。できれば今日参加できない人にも伝えたいので文書でお願いできればと思います。

1 区で作る道路計画による、建物取り壊しの場合、しかも建て替え先に戻れない、移転先の確保がない事態なのに、そこにある公共的な施設の日常的な利用者に対する説明を区は行わないのでしょうか。例えば小学校、幼稚園、保育園などの場合も、その父兄や利用者に対してその施設に赴いてまでして、道路計画側の説明はしなくてもよいと考えているのでしょうか。それとも公立の利用者なら行って、風の子会の利用者だから行かないのでしょうか。

2 この建物の1階にある、フレンドホーム高浜はどうなるのでしょうか。やはり風の子会と同じように「戻れない」し「移転先の確保が」がないのでしょうか。

3 風の子会はどうしても建替えた建物に「戻れない」のでしょうか。

4 区で作る道路計画により、行くあてがない風の子会の移転先について、責任感を持っていただき汗をかいてくださる部署は、区全体ではなくて、保健福祉部でもなくて、障害福祉課なのでしょうか。だから学校を管理する教育委員会も、老人ホーム等を計画する部門も、他人事なのでしょうか。

5 廃校の空き教室などについて、「だめだめ」と最初から言われていますが、新宿区の「東京おもちゃ美術館」などのように、都内でも全国でも廃校になった学校の空き教室を障害者使節団代やNPOなどの団体などに提供している例がたくさんあります。港区は、行く当てがない風の子会のような施設について、暫定的にもせよそのような配慮がなぜとれないのでしょうか。最初から「だめだめ」とはあまりに道路計画を作った港区として不誠実ではないのでしょうか。

6 区の道路計画のために、移転先がみあたらない風の子会などの団体に対して区が全面的に責任をもってくれないのでしょうか。

7 都市計画課に送った都市計画説明会において受け付けるとした、質問状に対する回答はないのでしょうか。

8 区が一本の道路を作るのに、築20年程度でつい最近補修したばかりの建物を取り壊すのは税金の無駄遣いではないのでしょうか。近くを通る計画の都のスケールの大きい道路計画の整備をまってから、道路需要や環境影響を検討するほうが良いと思いますが。





松本 恵司

皆さんこんにちは、元気ですか？  
最近インフルエンザが流行ってますね。皆さんも気をつけて、僕も気をつけます。それではまた。

# 巻頭文

## 活動報告

一月九日に、成田山新勝寺へ初詣に行きました。駐車場が混雑していたため、駐車場所を探す為手間取ったり、集合場所が定まっておらずそのため班がぼろけたいと色々ありました。

一月十二日に役所の方が四人お見えになり、移転説明会を開催しました。今休職中の非常勤職員の代わりに、一月中旬から元職員の方に入ってもらっています。

田村 亮彦



## クラブ活動報告

1月30日土曜日。風の子会でクラブ活動がありました。田中さんは小野塚さんと料理クラブでした。私は松本さんと歌を歌いました。前の職員の方がピアノを弾いてくれました。とても楽しかったです。運動クラブは三木さんと野田さんでプールにいきました。料理クラブは芋煮をつくりました。

柳川 敬事

風の子会では、毎月最終土曜日にクラブ活動を行っています。運動部、料理部、手芸部、読書部などメンバーそれぞれがやりたい活動をしています。

そこで一緒に活動に参加してくれるボランティアさんを募集します。

メンバーと一緒にクラブ活動に参加してみませんか？

詳細は風の子会までお問い合わせください。

次回のクラブ活動は3月26日（土）13時から（仮）です！  
皆様のご参加お待ちしております！

風の子会メンバー一同

TEL：03-3474-9674

よろしくお祈いします！





蘇れ競い書き居し花の春

風の子の生みの親、すすめる会の機関誌の集大成「雑草アラクサ」に、久しぶりにお目に掛かった。ずっしりと詰まった思い出の重さは、とても読み尽くせるものではない。

だが、七〇年・五〇年前の若き日を書き競った仲間たちの顔が、賑やかに浮かんでくる。

長坂・丸岡・森・宮坂など懐かしく古き良き時代の面々だ。

押されつつ唄うも楽し花見坂

登り行く彼方の空は花霞

半分朦朧となりながらも、今年もお花見の楽しみに酔えることを期待して、今までの記憶を辿って詠んでみよう。

声にはならなかっただろうけれど、思わず口ずさんでいた。そんな楽しい唄声、車椅子の列の後部から沸きあがって、共鳴が共鳴を呼んで、全体を盛り上げて、楽しさに包み込んで行く。

花田 春兆

## 夕会便り



1月の夕会は1回のみ。初詣の感想集約と今年の外に出ようの展望について話し合った。今年の初詣はどたばたのうちに終わってしまった感がある。高速移動中にキャブがバラバラになったり、駐車場を特定していなかったためにキャブがバラバラになったり、駐車場にはいるために大渋滞に遭ったり、参拝客で大混雑の中で他のメンバー達となかなか巡り会えなかったりと終始てんやわんやだった。職員状況が逼迫している中、多少はやむを得ないと思うが、それにしても今回はお粗末である。けれども風の子の行事は職員だけでなくメンバーもボランティアも協力して作っていくものはずだ。メンバーの意識向上がなく、今後も職員頼みでやっていくのであれば、どたばたしたものになるのはある程度致し方ないだろう。

外に出ようについては、新しい展開を模索していくためにいくつかの案が出たが、具体的には詰められなかった。5月まで時間はあるようでない。話し合いの頻度を高めていく必要があるように思える。

小野塚 航

風の子便り連載

岡本 明

バリアフリーよもやま話 第47回 「大震災から5年」

3.11の東日本大震災から5年になりました。2015年12月10日現在、避難者はまだ18万2000人（仮設、民間賃貸、親族・知人宅など）もおられるそうです。まだ行方不明の方は2016年1月8日現在2,563人で、今でも警察、自衛隊、家族、ボランティアなどによって行方不明の方の捜索が続けられています。

この震災では多くの障害のある人も被災しました。障害のある人の死亡率は、障害のない人の約2倍にもなると言われています。

障害のある人には、いろいろな障害者団体などがそれぞれに支援の手を伸ばしてきました。私自身も（社福）日本盲人福祉委員会の依頼で、震災直後から重度の視覚障害のある方の安否確認、支援、現状調査などをしてきました。訪問したり電話をした方は延べ800人になります（おかげで東北弁が堪能になりました）。この活動の中で感じた、いくつか気になることを挙げてみます。

まず、元の住所が居住禁止地域になっていて戻れない、復興住宅が当たらないなどから、仮設で一人暮らしの方がまだかなりおられるということです。近所の方や親せきの方のサポートを頼りに何とか生活しておられるようですが、「いちばん近い店でも歩いて30分かかり、買い物に行けない」、「役所から、支援物資があるから取りに来てと言われても、雪の中を白杖でどうやって行けばいいのか」など目が不自由で一人暮らしの大変さを切々と訴えられる方もおりました。一方、頑張っている方も多く、なかに全盲の方で、「料理はすべて自分でやる、ガスを使って魚も焼く」という方には驚きました。火がついているか消えているか、うまく焼けたかなどは手で触って確認するというので、「おかげでやけどだらけですよ」と笑っておられました。

次に、家族と一緒に住んでおられる方も、被災後はほとんど歩かなくなったという方が多く、いわゆる「生活不活発病」が懸念されます。体を使わないとますます動かなくなっていく「廃用症候群」が全身に及んでくるのです。目以外は健常だった方も、慣れない土地で出歩くことが不自由なので、つい家に閉じこもってしまいます。家の中でも慣れないため、トイレ以外は座ったまま、という方もおられました。歩かないので、歩けなくなるだけではなく、生活そのものが気分的にも身体的にも不活発になることによって、全身の機能が衰えてきます。一日も早く、自由に安全に外出できる環境を作ることが必要です。



最も気になるのが、新しい街づくりです。沿岸部の低い土地には、土を運んできて10m以上も「かさ上げ」する工事が進んでいます。津波が来ても大丈夫な高さにしようというわけです。土は台形に積み上げられ、これがいくつも並んでいて、台形と台形の谷間に道が通っています。かさ

上げについては視覚障害のある方や車いす使用の方は皆さん不安を持っています。これが今後どのような街になっていくのか、ほとんど知らされていないし、どのような街にしたいのかというヒアリングもされていないそうです。

今、強く感じているのは、震災復旧はまだまだ終わっていないということです。しかしボランティアの数も、各地の社協の災害ボランティアセンターの場合、2011年5月の16万人から、昨年12月には4,000人以下に激減しています。今一番恐れなければならないのは「忘れられていく」ということかもしれません。

## 僕の生い立ち

〜第四十六話〜

さていろいろ書いてきましたがおもえば絶えず陰になり日向になつて僕の事を励ましてくれるかみさんにこの欄をお借りいたしました。感謝の意を表したいと思っています。

僕が小さいころ、母方の、おじいちゃん「稔」、電車を見に行こうと、言つては、原宿駅に連れて行つてくれました。そして当時の、原宿駅というのは、人通りもまばらで、寂しい駅でした。そして時々貨物列車が、通るのですがそれに乗せられているのは豚とか、牛とかでした。こんな環境の中で言われたのです。「稔は大きくなつたら人の心がわかる優しい人になるんだ」僕は子供ながらに胸が熱くなつたのを記憶しています。

太田 稔

## 僕と彼女と時々僕の家族

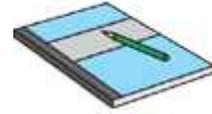
今のうちに、昔は駅にエスカレーターやエレベーターなど、バリアフリーでなかったのが、駅の階段の上げ下ろしを駅員の方達に手伝ってもらったり、まわりの人たちに手伝って貰いながら外出をしていました。今もバリアフリーになつてきたとはいえ、不便を感じるの僕だけでしょうか？

いよいよ僕たちは高校生になり、進路について考えました。僕の当時考えていたのは、作業所や生活実習所のような場所ではなく、夜間高校にチャレンジをしようと思いました。というのは、勉強だけでなく健常者（兄）の友達を増やしたいと思い、僕の家族や彼女、担当の先生そして周りの全ての方々に応援をしていただきました。今でも、感謝の気持ちでいっぱいです。

SATOSHI・TANAKA

# スケジュール

二月十七日(水) 運営委員会  
三月十二日(土) 料理教室(すき焼き・餃子・三色丼)  
四月十三日(水) イチゴ祭り



※1・2月合併号に掲載しました年間スケジュールにおいて、「歌と踊りのつどい」の日程を7/9と表記いたしましたが、正しくは7/2の予定となっております。この場を借りてお詫び申し上げます。大変失礼いたしました。



お知らせ  
メンバーの飯尾直美さんが、  
二月五日にお亡くなりになりました。  
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

風の子会一同



※メンバーからの個別メッセージは四月号に掲載します。

# 虫めがね～欲しい兄弟・姉妹

僕は三人兄弟の末っ子なので、姉・妹が欲しいです。

よく周りの姉妹が居る男性からは「二次元の世界のようなことは絶対にない」と聞きますが、「二次元の世界でよくある出来事」を望んでいるわけではありませんが、やはり姉妹がほしいです。姉・妹的存在の人がほしいので、義姉妹であつたり非血族者であっても居て欲しいです。

田村 亮彦



僕の「ほしい兄弟・姉妹」はいません。なぜかというと、両親の遺産で争いたくないし揉めたくもないからです。僕に兄弟がいれば考えも違ってくるのでしょうか…。ですが、子どものころは兄貴か姉がいれば、勉強を教わつたり兄弟で旅行をしたいししたかったです。又は、兄貴や姉の友人との出会いなど求めることが出来たのでは？と考えた時期もありましたが、今は一人っ子でも問題ないので兄弟はいません。それより、風の子のメンバーや職員と毎日楽しく過ごすことが一番です。

田中 聡



## 虫めがね～欲しい兄弟・姉妹

私の生まれ育った所は東京都港区だが、北区に北養護学校へ母親の運転する自家用車で通学していた。その母親の子供は私1人だったので、ずっと一人っ子でやって来た。その母親が4年前に死去した時は「全財産は夫に」と遺言状に書いて有り、1年前に死去した父親の遺言状には、自分の名前だけは無くほかに5人の相続人がいた。それは前から分かっていたが、明らかに腹違いの兄弟姉妹である事は間違いないと思う。その他にも何人か居ると思うが10人前後居ると思う。

私は同じ父母の姉と弟が欲しい。なぜかと言うと私は男なので女性の気持ちや考え方、欲しい物は何か？が未だに解らない。姉が居れば有る程度解ると思うし、幼い時から一緒にいれば自分の事を優しく可愛がってくれると思う。弟には自分が障害を持っているので出来ない所を手伝って貰い、時々居酒屋に行って色々な話しをして楽しみたい。3人何時までも仲良く語り合いたい！

幸 高史

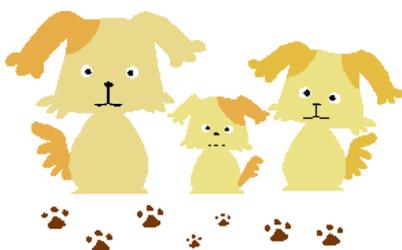
僕は兄貴が欲しいです。なぜかと言うと困った時頼りになるからです。後は色々自分困ったとき兄から知恵を貰えたいできそうなので。それからお酒を飲んだり、普段私は母と二人でご飯を食べる事が多いのでたまには家族揃って、食べてみたいです。

塚田 愛基

## 寄付のお礼



賛助会にご賛同を下さった方  
雨宮恭子様、大野誠様  
皆さま本当にありがとうございました。



僕はこのごろ、甘い物が、好きになってきました。昔は大嫌いでした。うちの母が「お酒を飲む人は本当に甘い物が嫌いね」と、言っていました。若いころは確かに母の言うとおりだったのです。ところが最近僕はさっきも書いたとおり、甘い物が好きになってきました。僕もなぜ好きになったかはわかりません。読者の皆さん、わけを知っていたら教えてください。

太田 稔

風の子の作業所へ行こうと外へ出たら、とても良い香りがしてきましたが、たぶん向かいのマンションの庭に咲く沈丁花の香りではないかと思いました。ほんの数秒間のあいだだけでも真冬の寒さを忘れられる、春の香りに包まれて幸せな気分になりました。

太田 圭子

## 編集後記

読者の皆さん、三次喫煙というのを知っていますか？初めて聞く方も多いかもかもしれません。一次喫煙とは、喫煙者がタバコの煙を自分の肺に取り込む喫煙・二次喫煙は、受動喫煙や副流煙といった喫煙者が吐き出した煙やタバコの先端から立ちのぼる煙などを吸い込む二次的な喫煙・そして問題なのが最近発見された三次喫煙。三次喫煙というのは、受動喫煙が終わった後も表面上つまりカーペット・髪の毛・衣服などにまだ残る有害物質を吸入すること。三次喫煙の害とは、人の細胞にある遺伝子を傷つけることにあります。三次喫煙は防ぎようがありません。吸い終わってその場から立ち去っても吸殻から有害物質を出し続ける三次喫煙。最悪としか言いようがありません。出来れば自分の部屋だけで吸っていただきたいものです。

三木 直人

## 謝罪と訂正文

「風の子会便り」1・2月合併号の会長新年ご挨拶と小倉賞受賞のお祝いご報告で、花田会長のお名前を「正國」と表記してしまいました。正しくは「政國」です。さらに、花田会長は大正5年生まれ、としてしまいました。正しくは大正14年生まれです。重ね重ね、大変失礼いたしました。お詫びして訂正させていただきます。今後このようなことの無いように、充分注意いたします。

岡本 明

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

幸森松田小太  
本村野田  
塚  
高杉恵亮 圭  
史 司彦航子  
  
和柳三塚田太  
栗川木田中田  
頭  
太敬直愛  
郎事人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>  
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

